

保健だより



8年生のみなさん、保護者の皆さまへ

令和7年7月17日

8年生 いのちの授業号

和泉市立横尾学園後期課程 保健室

7月10日(木) 8年生対象 いのちの授業 が終わって

“いのち”をテーマに、気さくな語り口調で愛に包まれるような授業をしていただきました。自分の命が始まった瞬間の大きさを目で確かめ、お母さんのおなかの中での成長の様子、命の道を通して出産する様子、自分もお母さんも頑張ったことをお話や映像、赤ちゃん人形、骨盤の模型などを見て教わりました。パーソナルスペースではお互いが心地よく過ごせる物理的距離の取り方についても説明を受けました。途中、学年の先生によるデートDVの例も見ました。

- これから先、周りに困っている人がいたら正しい知識を伝えてあげてほしい
- 自分や他者の 心と身体 を大切にできる行動をとってほしい
- 恋愛するとき、相手を思いやってほしい

今回の授業前と授業後に行ったアンケート結果を少し紹介します。

授業前アンケート

Q. 友人に一番してもらいたいことは？

- ・それぞれの考えで答えてくれています。
- ・今の自分へは、「頑張れ」とエールを送る人が多くみられました。

A. 大切にしてほしい、助け合い、気づかい、ほめてほしい、相談にのってほしい、頼って、これからも友人でいてほしい、いろいろ言い合える、気持ちを分かってほしい、支えてほしい、何かあったら寄り添ってほしい、話しかけたら笑顔で話してほしい、程よい距離を保ってほしい、約束を守ってほしい、自分にも合わせてほしい、話しかけてほしい、楽しく遊びたい、優しくこのまま など

Q. 友人に一番してもらいたくないことは？

A. いじり、悪口、陰口、いじめ、ガチギレ、無視、暴言、距離が近い、デリカシーのないこと、限度を超えるふざけ、チクリ、自分が嫌だなと感じること、やったらいけないこと、ケンカ、自分勝手なこと、冗談交じりであぶないことをする、しゃべっているとき何でも否定すること、自分の努力を笑われること、一人で悩むこと、過度な期待、一人で悩むこと、自分の意見を聞いてくれない など

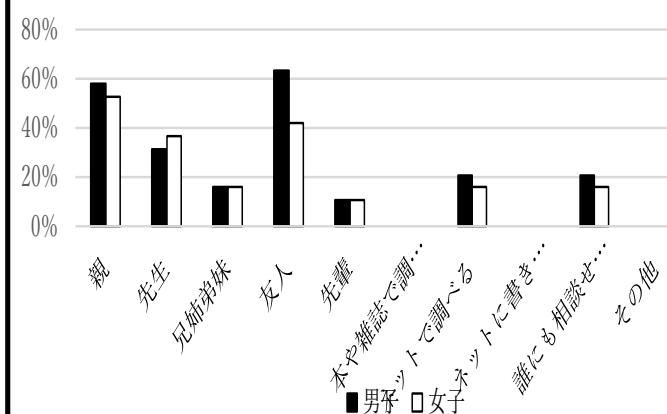
授業前アンケート

Q. いのち についてどんなイメージ？

A. 大切、心臓、美、ライフ、体を動かす働き、たくさんあるが同じものはない、1人一つしかない、かawaiiもの、尊いもの、皆が持っているもの、いつか尽きる、神から授かったもの、これから育てていくもの、自分だけの大切なもの、生きるためになくてはならないもの、世界に一つだけのもの、生命の源 など

授業後アンケート

体や心の悩みについて誰に相談する?(複数回答)



・相談相手はおうちの方や友人と答える人が多いです。

・相談するといってもなかなか言い出せないことだってありますよね、「気になることがあるんだけど…」「これってどう思う？」などと話始めてみてはどうでしょうか。相談先は内容によって変えてもいいと思います。

・ネットで正しい情報を得るために信頼できる情報源を調べてください。総務省な各省庁が出している情報、新聞社などの大手メディアが出している情報、大手企業が発信している情報などは信頼性が高い場合が多いです。

授業後アンケート

Q. いのち についてどんなイメージ？

A. いろいろな人の手を経て生まれてきた奇跡のような存在、当たり前ではない奇跡の存在、頭から足まで全部が命、全ての条件がそろわないと育たないもの、みんなつながっていて自分もつながっている、たくさんの人が関わっているもの など

ウラ面には、感想文の一部を紹介したいと思います。
同じお話を聞いていた他の人はどう感じたのでしょうか。

感想文より

- みんな最初はめちゃ小さいけど一人一人また違う命があって、赤ちゃんになると体だけでなく心のケアもしないと生きていけないと知って驚いた。そして、みんなかけがえのない大切な存在だと知った。
- 命は46億年前にできた地球からつながってきたものだと感じた。人の命は愛を伝えて受け継がれるのだと思った。当たり前の日常もすべて命があるから。
- 命は「一人が生まれるには2人、十代さかのぼると1024人にもなる」。多くの人が関わってきたとても大切なものだとすることを理解した。
- 人との関係を大事にしていくためには相手のことを思いやる必要がある。相手の体だけではなく心も大切にしていかなければいけないと思った。相手を傷つけるということは相手を思いやる行動ではない。
- みんな誰かから愛されたかけがえのない存在だったんだと思った。命がつながってきたから今の自分がいる。みんな違ってみんないい、という言葉がより理解できた。
- お母さんも自分もみんなが頑張ったからこの世界に出てくることができたと分かった。誰かを愛するということがあるなら、自分も誰かに愛されていると思えば上手く人と過ごせそうだった。それぞれ人には個性があるから自分や他の人を認めて大切にしようと思った。何か頼まれたときや聞かれたときに断るのも選択肢にあるということ、自分の命を一番に守らなければならないと言っていたのが一番心に残った。
- 今ここに自分がいるのはすごいことだと分かった。そして今関わっているたくさんの人も同じようにたくさんの人の力で生まれてきていて大切にしたいと思った。赤ちゃんは生まれてくるときに頭を小さくしたり、回転したり、たくさんの工夫をしていることを知って驚いた。
- 今後もいろいろな人と関わって、自分と他の人の命も同じくらい大切にしたいと思う。
- 動画を見た時、赤ちゃんが生まれてすごくうれしそうな「親」とその周りの人たちにすごくすごく感動した。私も生まれた時もこうなっていたのだと思うとすごく支えられ愛されていると思う。また、これからは人の気持ちを考えたりすることなども、今日学んだことを行動化していければいいなと思う。



- 自分が生まれるまでにたくさんの人といろいろな奇跡が重なって命が生まれたのだと思った。また、王様の実験で赤ちゃんにミルクなどの栄養を与えても目を合わせない、抱っこしない、話しかけないでいると1歳の誕生日まで一人も生きられなかったと知って驚き、生まれる前も生まれた後も、今自分が生きているのは愛があったり、たくさんの人たちのおかげなんだ、と「愛の力」はすごいと思った。
- 動画を見たとき、すごく感動しました。生きることは大変なこともあるけれど、誰かに愛されていたこと、いることを受け入れるだけではなく、誰かに伝えていきたいなと思った。
- 親とあまり話したくない、理由もなくウザイと思ってしまうことがある。今日お話を聞いても多分すぐに気持ちは変わらないと思うけどたまには産んでくれたことに感謝しようと思った。今日初めて会った近藤先生に「生まれてきてくれてありがとう」と言われたとき、変な気持ちになった。ひとつひとつの胃の位置を大切にされているんだなと感じた。
- 人のいやなことや、自分のいやなことをしてはいけないし、気をつけないといけない、一人一人の命を尊重しようと思った。
- 授業を受けるまで自分は大切な存在と思っていなかったけど、ずっと自分のことを考えてくれて14年間育ててくれたことに気づけた。親とよくケンカすることがあるけれどケンカをしていても感謝の気持ちは忘れないでおこうと思った。
- おなかの中にいる赤ちゃんがずっと頑張っていて、人間はすごいと思った。お母さんもとても頑張っているから感謝を伝えないといけないと思った。あと、自分の意見をしっかり持って自分を大切にしていこうと思った。
- 思春期でこれからもみんな悩むことが多いと思うけれど、そんなときは一人で抱え込むのではなく、信頼できる人に相談することが大切なんだと分かった。
- 人の体だけでなく、心や人とのつきあい方など自分を見直すきっかけになれた時間だった。自分の気持ちを相手に伝えること、相手の気持ちを考える思いやりをこれからもっと増やしていきたいし、行動したいと思った。